

令和5年度 組織目標 (実績)

所属 総務部

【総務部 行動指針】

市民の安心・安全を全力で支えます

「選ばれるまち」をはじめ総合計画達成に取り組むチーム市役所を全力で支えます

そして、一人一人がつながり、成長します



No.	組 織 目 標	ページ
1	風通しの良い職場・働きやすい職場・やりがいのある職場、学び、チャレンジする組織風土、DXの推進を通じて、より自ら考え・行動する宮津市役所への変革（transformation）を進めます。	P1～ P2
2	市役所の庁舎のあり方・基本構想を方向付けします。	P3
3	持続可能なコミュニティのあり方について、自治会と連携し、検討を進めます。	P4
4	外国人が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市交流を推進します。	P5
5	地域住民の自助、共助と公助の連携・協働により、あらゆる災害から市民の生命と財産を守ります。	P6


1	風通しの良い職場・働きやすい職場・やりがいのある職場、 学び、チャレンジする組織風土、DXの推進を通じて、 より自ら考え・行動する宮津市役所への変革 (transformation) を進めます。  	中間点検 (9月)	実績 (3月)
運営目標	<p><b>【施策】</b> 風通しの良い職場、働きやすい職場、やりがいのある職場への変革 (transformation) ～市民、職員の満足度向上を目指して～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>          職員意識調査 満足傾向度 R4年度 55.8% → R5年度 70%          時間外勤務削減 対H30 (一般会計) 比 40%減 (△30,000千円) の継続          年休取得促進 年5日以上取得職員割合 R4:70.1% → R5:85%          年12日以上取得職員割合 R4:36.6% → R5:50%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①職員意識調査及び業務改善提案制度による職場課題の把握と改善実施          ②時間外勤務の実績分析と管理職による総労働時間の適切な管理 (時間外勤務管理の事前届け出)          ③産業医や衛生委員会と連携したメンタルヘルス対策の実施          ④カスタマーハラスメント対策指針の策定 (9月) と実施          ⑤職員の兼業等による地域社会貢献活動の推奨</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>          職員意識調査 (11月) 実施予定。          時間外勤務削減 (9月末現在時間外勤務時間 対H30 比 41%減)          年休取得状況 (9月末現在) : 集計中</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①職員意識調査及び業務改善提案制度による職場課題の把握と改善実施          ・従来の職員意識調査にエンゲージメントサーベイの要素を反映の上、実施予定 (11月)。          ・業務改善提案有。改善に向けての精査中。          ②時間外勤務の実績分析と管理職による総労働時間の適切な管理 (時間外勤務管理の事前届け出)          ・時間外勤務管理の事前届け出を4月から実施。          ③産業医や衛生委員会と連携したメンタルヘルス対策の実施          ・ストレスチェック実施済 (9月)。結果を分析中。          ④カスタマーハラスメント対策指針の策定と実施          ・指針の素案を策定 (3割程度)。弁護士、警察等との連携を調整 (11月見込み)。          ⑤職員の兼業等による地域社会貢献活動の推奨          ・兼業等による地域貢献活動 (相談1件)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>          意識調査満足傾向度 52.3% (目標比△17.7pt、前年度比△3.5pt)          時間外勤務時間数削減 △37.5% (対H30 比 (全会計ベース))          時間外勤務手当削減 △33,614千円 (対H30 比 (一般会計ベース))          *前年度△40.4% (△36,759千円) から増加          年休取得状況 年5日以上:74.6% (目標比△10.4p、前年比+4.5p)          年12日以上:37.6% (目標比△12.4p、前年比+1.0p)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①職員意識調査及び業務改善提案制度による職場課題の把握と改善実施 (調査結果報告は作成中)          ・エンゲージメント調査結果 3.5点 (標準3.6点)          →職場への帰属意識3.5点、業務負荷の健全度3.01点など。          ・業務改善提案有 (事務分掌の整理) →今後対応予定          ②時間外勤務の実績分析と管理職による総労働時間の適切な管理 (時間外勤務管理の事前届け出)          ・時間外勤務管理の事前届け出を4月から実施。          ③産業医や衛生委員会と連携したメンタルヘルス対策の実施          ・ストレスチェック実施済 (9月)。          回答者 (再任用、会任職員含) 258名 (前年:263名)          うち、高ストレス者 38名 (前年:38名)          うち、産業医面談実施者 1名 (前年:4名)          ④カスタマーハラスメント対策指針の策定と実施          ・未策定。3割程度          ⑤職員の兼業等による地域社会貢献活動の推奨          ・兼業等による地域貢献活動 (実績0件)</p>
	<p><b>【施策】</b> 学び、チャレンジする組織風土、より自ら考え、行動する宮津市役所への変革 (transformation) ～宮津市人材育成基本方針の推進～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b>          階層別研修受研率 (指定職員が受研した割合) 100%          能力開発等研修受研率 (いずれかの研修を受研した正規職員の割合) 100%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①人を育てる人事管理          ・定員管理計画の改訂 (6月)          ・職員採用確保のための募集方法の改定 (実施時期、中途採用拡大) と採用に際しての支援制度の構築          ・民間人材の採用、民間企業との交流拡大</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>          階層別研修受研率 100%          能力開発等研修受研率 85.5% (受講中含む)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①人を育てる人事管理          ・定員管理計画改訂 (策定作業中)          ・統一試験日外に試験日を設定、年齢上限45歳に設定、受験対策負担軽減のための試験の簡素化を実施。(受験申込者数は前年度の1.5倍、前期試験内定承諾率75%)          ・専門職採用に向けた奨学金返還支援を検討          ・民間人材採用 (CIO補佐監)、民間企業との交流拡大          (JTB:観光戦略担当課長、株SOARIG: CIO補佐監現地パートナー)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b>          階層別研修受研率 (修了者/受講決定者) 89.3%          能力開発等研修受研率 (いずれかの研修を受研した正規職員の割合) 71.8%</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①人を育てる人事管理          ・定員管理計画改訂 (策定作業中)          ・統一試験日外に試験日を設定、年齢上限45歳に設定、受験対策負担軽減のための試験の簡素化を実施。(前期後期あわせて受験申込者数は前年度の1.5倍(45名)、9名採用)          ・専門職採用に向けた奨学金返還支援は、取下げ。          ・民間人材採用 (CIO補佐監)、民間企業との交流拡大 (JTB:観光戦略担当課長、株SOARIG: CIO補佐監現地パートナー)</p>

	<p>②あらゆる機会・場面を通じた能力開発の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員行動指針」の見直し（7月）と定着</li> <li>・年度研修計画に基づいた研修実施と受講管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>*階層別研修、能力開発研修（庁内講師：予算づくり研修）、特別研修（市長特別講座、職場エンゲージメント向上研修）など</li> </ul> </li> <li>・職員と市長との座談会（新採職員、若手職員、女性職員）を通じた職員の成長意識の醸成</li> <li>・職員自己啓発助成制度の推奨</li> </ul> <p>③人を育てる組織・職場への改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職のマネジメント力の強化（R4 適性検査に基づく個人面談指導による適性把握と能力向上等）</li> <li>・エンゲージメントを高める給与体系（評価に応じた給与体系）への転換</li> <li>・持続可能な組織体制の検討</li> </ul>	<p>②あらゆる機会・場面を通じた能力開発の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員行動指針」の見直し（7月）</li> <li>・年度研修計画に基づく研修実施、受講管理を実施中。 <ul style="list-style-type: none"> <li>階層別：23/25メニュー、能力開発：10/12メニュー、特別：4/8メニューの実施、9月末時点の受研者総数：465人(延) <ul style="list-style-type: none"> <li>R3…階層別：12メニュー、能力開発12メニュー、特別：12メニュー、受研者総数441人(延)</li> <li>R4…階層別：19メニュー、能力開発12メニュー、特別：12メニュー、受研者総数702人(延)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・職員と市長との座談会（12～1月実施予定）</li> <li>・自己啓発助成制度利用者（9月現在2名）</li> </ul> <p>③人を育てる組織・職場への改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職のマネジメント力の強化（個人面談指導の試行実施11月予定）</li> <li>・エンゲージメントを高める給与体系への転換：人事評価の昇給反映について、組合に提案（10月）。</li> <li>・持続可能な組織体制の検討（11月組織ヒアリング予定）</li> </ul>	<p>②あらゆる機会・場面を通じた能力開発の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「職員行動指針」の見直し（7月）</li> <li>・年度研修計画に基づく研修を実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>階層別：22/24メニュー、能力開発：11/12メニュー、特別：5/7メニュー</li> <li>受研者総数：592人(延) <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;未実施&gt;階層別：管理職研修（課題分析等能力強化）</li> <li>能力開発：職員による庁内実務研修</li> <li>特別：市長特別講座、職場エンゲージメント向上等</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・職員と市長との座談会：未実施</li> <li>・自己啓発助成制度利用者（6名9件）※認定者</li> </ul> <p>③人を育てる組織・職場への改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職のマネジメント力の強化（未実施：②の管理職研修再掲）</li> <li>・エンゲージメントを高める給与体系への転換：給料表の改定（継ぎ足し含む）と人事評価の昇給反映導入を決定（R7 施行）。</li> <li>・持続可能な組織体制の検討：R6 組織一部改正</li> </ul>
--	---	--	--

<p>運営目標 ③</p>	<p><b>【施策】</b>デジタル技術を活用した市役所サービスの高度化・向上(transformation) ～行かなくてもいい市役所、書かなくてもいい窓口を目指して～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 市役所窓口サービス等の高度化・向上策の導入方針の決定 *DX推進計画実施計画策定において</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①DX推進本部・窓口高度化戦略検討チームの設置及び方策案作成(9月メド) *オンライン申請業務の拡大、窓口体制の整理、バックヤード処理手法 出先窓口の見直し、市民支援体制の検討等</p> <p>②オンライン申請に必要なマイナンバーカード普及促進(R5末:80%)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 導入工程表作成中(3割くらいの出来)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①検討チーム設置済 5月 方策案(導入工程表)作成中</p> <p>②交付率78.4%(8末時点)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 導入工程表作成中(7割くらいの出来) ・窓口高度化向上:3プロジェクト(7割程度の完成度)</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①検討チーム設置済 5月 方策案(導入工程表)作成中: ・窓口高度化向上:3プロジェクト(7割程度) (手続きオンライン化、コンビニ交付、書かない窓口)</p> <p>②交付率80.4%(R6.3.31)</p>
<p>④</p>	<p><b>【施策】</b>デジタル技術を活用した市役所業務の効率化・高度化(transformation) ～スマート市役所を目指して～</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 新たな価値創造のための時間創出:5,000時間</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①自治体標準化システムの導入(R7)準備(20業務):手順書フェーズ3まで ②AI/RPAの導入拡大 ・RPA導入拡大準備:候補業務127について、採否及び導入手順整理。 ・AI-OCRの試験運用(介護保険関係業務) ・AIを活用した自動応答サービス、自動文字起こしツール導入検討 ・AIチャットボット導入に向けた市HP内容充実 ・生成系AIの利用ガイドラインの作成 ③内部事務システムの効率化、運用改善 ・DX推進本部・内部事務効率化改善チームの設置及び方針案作成(12月メド)</p> <p>④庁内事務のさらなるデジタル化と業務改善 ・グループウェア運用整理及びビジネスチャット導入による庁内情報連携の省力化・円滑化(4,000時間) ・マンスリーDXによる業務改善拡大 ⑤デジタル人材育成研修(職員研修)の継続実施、受講徹底</p> <p>⑥テレワーク・リモートワークの拡大:運用再整理 ⑦セキュリティ対策の徹底 ・情報セキュリティポリシー改訂、システム運用ルールの徹底、職員研修</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 1,267時間を創出(5分/日×20日×4月×190人) <b>【④ビジネスチャット導入の効果】</b></p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①実施中 ②・RPA拡大:実施中(R6当初に反映) ・AI-OCR実施中(介護保険給付申請関係) ・AI文字おこしツール試行中 ・チャットボット未着手(HPはLINE連携の面で充実) ・生成系AI試行利用ガイドライン作成済</p> <p>③導入工程表作成中</p> <p>④・ビジネスチャット導入:6月4月で1,267時間を創出 ・マンスリーDX:第13弾発出(秘書事務の改善(市長・副市長スケジュール管理)260時間創出見込み) ⑤・プロジェクトの進め方研修実施(8/4) 13名受講(※1名アンケート回答なし) ・ChatGPT研修実施予定(10月下旬)</p> <p>⑥未着手 ⑦セキュリティポリシー:未着手 運用ルール徹底:実施中(インフォメーション告知) 職員研修:実施中 ・J-Lisリテラシー向上研修(PC利用全職員) ・マイナンバー情報連携研修(情報連携関係部局全員) ・標的型攻撃メール訓練 ・府eラーニング研修実施予定(10月中旬から10月末)</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 3,297時間を創出</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①導入完了時期をR8にリスケジュール ②・RPA拡大:12業務導入準備、R6実行 ※候補業務(各課照会結果):134業務 ・AI-OCR導入済み(介護保険給付申請関係) ・会議録支援システムとしてR6に導入決定 ・チャットボット未着手(HPはLINE連携の面で充実) ※LINE連携ツール内で標準機能として実装 ・生成系AI試行実験するも導入判断には至らず。次年度再試行。 ③導入工程表作成中(2本(文書事務改善、財務事務改善)、3割くらいの出来) ★さらに細分化してプロジェクトを再構成していく (文書保存改善、意思決定手続き改善、会計処理改善、予算執行改善など) ④・ビジネスチャット導入:10か月で3,167時間を創出 (5分/日×20日×10月×190人) ・マンスリーDX:第13弾発出(秘書事務の改善(市長・副市長スケジュール管理)130時間創出) ⑤・プロジェクトの進め方研修実施(8/4) 13名受講(※1名アンケート回答なし) ・ChatGPT研修実施(10/26)126名受講</p> <p>⑥未着手 ⑦セキュリティポリシー:未着手 運用ルール徹底:実施中(インフォメーション告知) 職員研修:受講実績 ・J-Lisリテラシー向上研修(PC利用全職員)245名 ・マイナンバー情報連携研修(情報連携関係部局全員)125名 ・標的型攻撃メール訓練265アカウント ・府eラーニング研修実施238名</p> <p>その他 ・地域DX工程表:1プロジェクト(観光DX)(6割程度) ※工程表未作成(医療Ma a S、グリーンスローモビリティ)</p>

2	市役所の庁舎のあり方・基本構想を方向付けします。	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>① <b>【施策】</b> 市役所庁舎整備の基本構想を方向付けします</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 庁舎基本構想等検討委員会から「基本構想案」の提言</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①庁舎基本構想等検討委員会の運営支援 ②検討委員会検討段階における市民意向の把握 ③その他関係機関等との調整</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①7/16 第1回委員会、11/20 第2回委員会 ②未実施（第2回検討会以降実施） ③実施中</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 3/12 検討委員会から答申を受けた</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①7/16、11/20、3/6 3回の委員会開催 ②12-1 市民アンケート実施 660 回答 ③基本構想答申まで了。引き続き実施中</p>
	<p>②</p>		

3	持続可能なコミュニティのあり方について、 自治会と連携し、検討を進めます。  	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p><b>【施策】</b> 自治会組織の持続可能性を確保するための自治会、行政が取り組むべき方策について、自治連として方向性を決める。</p> <p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「持続可能な自治会標準モデル」の作成</li> <li>・行政支援策（補助金等、委託・依頼事項等）リニューアル案の作成</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①自治連（部会）における議論を活性化するため、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部会にファシリテーターを配置</li> <li>・R3 検討経過（アンケート）、R4 検討経過（自治会役割の優先順位）</li> <li>・自治会側において若い世代、女性の意見を把握</li> <li>・行政の関与項目（委託事項、依頼事項、支援事項等）の再整理</li> </ul> <p>②その上で、たたき台を提示する中、次の論点を整理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治組織として自治会が果たす最低限必要な活動</li> <li>・行政と地域の自治組織の関係</li> </ul> <p>③論点を整理した上で、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会内コミュニケーション手法の研究（Ex. DX 活用等）</li> <li>・「持続可能な自治会標準モデル」の作成</li> </ul> <p>*エリア連携構想の検討と連動して検討を進める</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成に向け自治連部会開催中（全5回予定、4回まで開催）</li> <li>・検討中</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーター配置済</li> <li>・市内児童生徒の保護者を対象にアンケート実施（7月）</li> <li>・自治連部会（第4回）で検討</li> </ul> <p>②検討中（自治連部会において検討）</p> <p>③検討中</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準モデル作成済み</li> <li>・未作成</li> </ul> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b></p> <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーター配置済</li> <li>・市内児童生徒の保護者を対象にアンケート実施</li> <li>・自治連部会（第4回）で検討（未完、継続検討）</li> </ul> <p>※R6 検討の核として継続</p> <p>②論点整理済み</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会内コミュニケーション手法：未完了・継続検討</li> <li>・標準モデル作成</li> </ul>
	②		

4	外国人住民が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりを進めるとともに、姉妹都市交流を推進します。 	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p>① <b>【施策】</b> 外国人住民が暮らしやすく、地域でつながり、地域で活躍できる多文化共生のまちづくりの推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 外国人支援者の拡大・養成講座修了者：10人</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①日本語支援ボランティア養成講座開催：全5回/年 *京都府国際センターとの連携</p> <p>②外国人支援特集HP作成：7月末までに市HPに設置 ③外国人向けゴミ出しリーフレット作成：9月末までに</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 外国人支援者の拡大・養成講座修了者：10人 ⇒(見直し) 市内在住外国人に係る日本語等研修の受講者数：20人</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①日本語支援ボランティア養成講座の開催に向け、参加者募集を行ったが、応募者が少数であったため、開催を中止した。市内在住外国人向けに、交通マナー・救命救急の研修を11月に実施予定 ②制作中（11月公開予定） ③制作中（10月完成予定）</p>	<p><b>【指標の達成実績】</b> 市内在住外国人に係る日本語等研修の受講者数：28人</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実施状況】</b> ①市内在住外国人向けに、交通マナー・救命救急の研修（11月）参加者28名 ②10月完成公開 ③10月完成：外国人向け研修や市役所窓口で配付</p>
	<p>② <b>【施策】</b> 姉妹友好都市間の交流を深め、国際感覚豊かな人づくりを推進</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 小中学校での姉妹都市間の学生WEB交流の実施：全校</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①国際感覚豊かな人づくりの基盤づくり、オールイングリッシュ授業の成果としてWeb交流：年2回以上/校 ②姉妹都市との訪問交流再開に向けた各姉妹都市交流協会の体制整備 ・各協会活動の活発化支援 ・姉妹都市からの非公式訪問団の受け入れ</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 小中学校での姉妹都市間の学生WEB交流の実施：全校 ⇒(見直し) 訪問団受け入れホストファミリー募集等の受入体制整備</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①Web交流に向け、姉妹都市への依頼をしているが、実現できていない。 ②姉妹都市との互いの訪問再開に向け、調整中</p>	<p><b>【指標の達成実績】</b> 訪問団受け入れホストファミリー募集等の受入体制整備：市内高校及び市内各友好協会との連携強化 ※小中学校での姉妹都市間の学生WEB交流の実施：4小学校で実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等の実施状況】</b> ①宮津市国際交流協会の体制見直しにより機敏性向上 ②姉妹都市との相互訪問交流をR6から再開 (R6：ネルソン市学生訪問団派遣、デルレイビーチ市学生訪問団受け入れ)</p>

5	地域住民の自助、共助と公助の協働等により、あらゆる災害から市民の生命・財産を守ります。  	中間点検（9月）	実績（3月）
運営目標	<p><b>【施策】</b> より実効性の高い原子力防災体制を確立する</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 原子力災害住民避難計画（改正）の住民周知（R5：50自治会目標）</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①住民避難計画の周知活動：住民説明会（各自治連役員会等）、広報掲載 ②養老・日ヶ谷地区の放射線防護施設として養老地区公民館の整備完了する（3月） ③京都府との連携による原子力防災訓練の実施（対象地区時期未定）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 9月末 地区及び自治会説明：30自治会</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①自治会等の集りに出席説明、広報誌で11月原子力防災訓練と合わせて啓発。自治連幹事会で再度要請。 ②工事発注済み。（6月契約、工事実施中） ③11月26日実施予定（対象：栗田地区）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> 3月末 地区及び自治会説明：30自治会</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①自治会等の集りに出席説明、広報誌で11月原子力防災訓練と合わせて啓発。 ②3月29日完成。 R6.5月中に披露 ③11月26日実施（対象：栗田地区）：参加者99名</p>
	<p><b>【施策】</b> 防災意識の高揚、自助・共助の取組強化による地域の防災力・減災力の向上</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> ①住民主体による地区防災計画作成の推進：5計画（作成自治会26%⇒31%） ②防災情報伝達の重層化（LINE防災情報の強化）：6月 ③防災行政無線の今後のあり方方針決定：11月</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①防災出前講座や自治会役員会での説明、風水害防災訓練にあわせた地域主体の防災訓練などを通じ、避難タイムライン・地区防災計画、施設の避難確保計画の作成を伴走支援 ②LINE活用による防災情報内容の充実・強化・発信を図る「スマート防災」を推進 ②防災行政無線の更新・長寿命化等、今後のあり方計画の作成（11月） ③災害警戒／対策本部の運用訓練の実施（風水害・地震）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ①9月末 計画作成なし ②11月末の配信に向けて協議中 ③協議未実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①自治会に働きかけできていない。東部自治連中心に働きかけを行う。 ②業務発注済み。（8月契約、配信内容構築中） ③協議未実施、資料作成中 ④未実施</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b> ①3月末 計画作成なし ②12月公式LINEセグメント配信スタート（防災ページ） ③協議未実施</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①計画作成につながらなかった。防災出前講座等で働きかけを行った。 ・10/29 東部自治連主催「防災講演会」を後援 ・12/7 須津自治会「防災に関する講習会」 ・1/28 滝馬自治会「防災講話」 ②配信内容：年末警戒、消防出初式、Jアラート情報伝達試験、消防団広報誌「MATOI」春季火災予防週間（4件発信）ほか気象情報 ③協議未実施、資料作成中 ④1/17 参集訓練実施（地震災害）参集率33.1%</p>
	<p><b>【施策】</b> 地域防災の中核である消防団組織の維持</p> <p><b>【達成すべき指標】</b> 消防団体制（7分団26部・支援隊）の維持</p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①団員の負担軽減策（団長点検の改善：1分団2時間→1.5時間、訓練週3日以内）の実行 ②消防団の活動理解促進のための広報冊子「まとい」の発行（11月、3月） ③消防団行事への子どもの参加継続及び事業所自衛消防隊との連携研究 ④消防団分団と地域が連携した防災訓練の実施（災害時避難行動円滑化事業など）</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①団員の負担軽減策（団長点検の改善：1分団2時間→1.5時間、分団判断で訓練週3日以内）実施済み ②9月第1回発行済み。1～3月に第2回発行予定 ③9月消防団PRイベント実施、1月出初式に子どもがパレードに参加予定。事業所自衛消防隊との連携研究は未着手 ④9月各分団に依頼済み。年内に実施目途が立たない場合、年度内で1分団指名し訓練実施予定</p>	<p><b>【達成すべき指標】</b></p> <p><b>【指標を実現するための取組・手段等】</b> ①団員の負担軽減策（団長点検の改善：1分団2時間→1.5時間、分団判断で訓練週3日以内）実施済み ②9月、3月に発行 ③9月消防団PRイベント実施、1月出初式に子どもがパレードに参加。事業所自衛消防隊との連携は、由良地区で働きかけは行ったが、消防団活動への参画には至らなかった。 ④9月各分団に依頼済み。11/9 長江自治会と養老分団との防災訓練（地震想定避難訓練、消火訓練）を実施</p>



